

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	○
			地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	○
			地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		たなべ ひろこ				
氏名		田邊 寛子				
所属	名称	①有限会社田辺コンサルタントグループ まちひとこと総合計画室/②NPO 法人あまみ空き家ラボ/③旅するうなぎのねどこ				
	役職	①取締役(副社長)/②理事/③主宰				
連絡	住所	(非公開)	〒 -			
			-			-
	連絡先	(公開)	E-mail tanabe-hiroko[アットマーク]tanabe-consul.jp			
		(公開)	TEL 03-6433-0413		FAX 03-6433-0414	
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		1998 年度 武蔵野美術大学造形学部 建築学科卒業 2000 年度 早稲田大学大学院 建築学科修士課程修了 2000-2007 年度 株式会社アブル総合計画事務所 2007 年度- まちひとこと総合計画室設立 2020 年度 有限会社田辺コンサルタントグループ取締役就任、NPO 法人あまみ空き家ラボ 理事就任 2021 年度-NPO 法人新潟まちづくり学校理事就任(23 年度退任) 2020 年度-多世代の趣味と好奇心の交流プラットフォーム 旅するうなぎのねどこ 2023 年度-旅するうなぎのねどこアーティストインレジデンス事業 徳之島開始 【自主事業】 2015 年度- シェアスペースうなぎのねどこオープン 【専門家】 2010 年度-東京都品川区景観審議会委員、2010-16 年度 東京都品川区都市計画審議委員、2011 年度- 財団法人地域活性化センター 地域力創造人材、2018 年度- 長野県辰野町都市計画審議員 【大学】 2008 年度-11 年度 明治大学理工学部建築学科兼任講師、2010 年度 東京芸術大学大学院美術研究科非常勤講師 2011 年度-15 年度:早稲田大学非常勤講師、2014 年度- 芝浦工業大学非常勤講師、2017 年度 早稲田大学芸術学校非常勤講師、2020 年度-武蔵野美術大学非常勤講師				
著作・論文等		1999 年度修士論文:住民参加型公共施設建設寺の参加主体のコラボレーション実態に関する分析モデルの提案 2002 年度寄稿:機関誌「建設業界」597 号 「曾祖父田邊朔郎のこと」(土工協) 2007 年度寄稿:機関誌「都市+デザイン」26 号 柴又帝釈天参道 まちなみ(底下)ボン				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	ポリ連続照明(財団法人都市づくりパブリックデザインセンター) 2010 年度1月寄稿:機関誌「地域づくり」生活の営みが色濃くにじみ出た景観づくり(財団法人地域活性化センター)		
取組概要	【景観デザイン】景観とは、「その地域が歩んできた歴史」「生活や商売の営み」が垣間見れる風景の蓄積と感じています。それを維持・保全し、創造していくためには、地形や境界など地理的な要素、そこに住む方々や関係する方々を地域資源ととらえ、歴史や産業と合いったその地域らしさを、持続可能な仕組みづくりを関係のデザインを構築しながら進めることが大切であると考えています。 【コミュニティデザイン】実行できる計画を立てる必要があります。そのためには、かかわる人が参加できるプロセス構築が必要です。 【空き家活用】 奄美群島では空き家の流動化をサブリース等の手法をしながら進め、東京品川では、築100年の空き家をDIYしながら改修しシェアスペースとして蘇生し実践、徳之島ではアーティストインレジデンスの場として活用しています。 特に、離島の福祉について、地域資源の活用し、障がい者や高齢者の「生きがい」「自立」「持続可能」を視点にまちづくりの支援を行っています。 【エリアリノベーション】 彦根銀座では、防火建築街区であるRC造複合空き家の活用を検討しつつ、住民主体のエリアリノベーションの支援を行いつつ、行政と連携しながら基礎的な調査も行っています。		
メッセージ	管理や継続から、計画していくことが大切だと思っています。小さなことから進める、継続する。その視点でまちづくりをしていくことが大切と思っています。		
関連ホームページ	https://www.machihitokoto.com/ http://www.tanabe-consul.jp/machihitokoto	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。